

資料集目次

【資料5】

1 まちづくり・交通

木造住宅密集地域の分布状況	1
昭和55年以前木造建物棟数密度の状況	2
道路混雑時の平均旅行速度（他都市との比較）	3
道路混雑時平均旅行速度の推移	4
首都圏の渋滞による損失額等	5
道路率の国内都市比較	6
道路率の海外都市比較	7
環状道路の整備状況（海外都市比較図）	8
3環状道路の開通目標	9
三大都市圏の最混雑区間における平均混雑率・輸送力・輸送人員の推移	10
鉄道混雑率の海外都市比較	11
路線別混雑率の推移	12

2 国際

日本人海外旅行者数・訪日外国人旅行者数の推移	13
国際旅行収入ランキング（平成19年）	14
海外主要都市別国際会議開催件数（2008年）	15
外資系企業数の推移	16

3 地域

東京都における地域の活動に関する意識調査	17
人のつながりに関する意識調査（人との望ましい付き合い方）	18
人のつながりに関する意識調査（近所付き合いの程度の推移）	19
人のつながりに関する意識調査（地域のつながりと治安）	20
高齢者単身世帯数の割合（予測）	21

4 教育

東京都児童相談所内の全相談対応件数に占める虐待相談対応件数の割合の推移	22
都府県別の中学校の生徒100人当たりの不登校生徒の出現率の推移	23
都内公立中学校における不登校生徒数及び生徒100人当たりの出現率の推移	24
都内公立高等学校（全日制・定時制）における不登校生徒数及び生徒100人当たりの出現率の推移	25
都内公立小学校・中学校・高等学校における暴力行為発生件数の推移（平成15～20年度）	26
都府県別の児童・生徒1000人当たりのいじめの発生・認知件数の推移	27
毎日の読書量（都内公立小学校5年生）	28
毎日の読書量（都内公立中学校2年生（平成16年度のみ3年生））	29
自分は根気強いほうだと思うか（都内公立小学校5年生）	30
自分は根気強いほうだと思うか（都内公立中学校2年生（平成16年度のみ3年生））	31
将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいか（都内公立小学校5年生）	32
将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいか（都内公立中学校2年生（平成16年度のみ3年生））	33
中学校・高等学校生徒の私立学校在籍割合の推移	34

5 インフラの老朽化状況

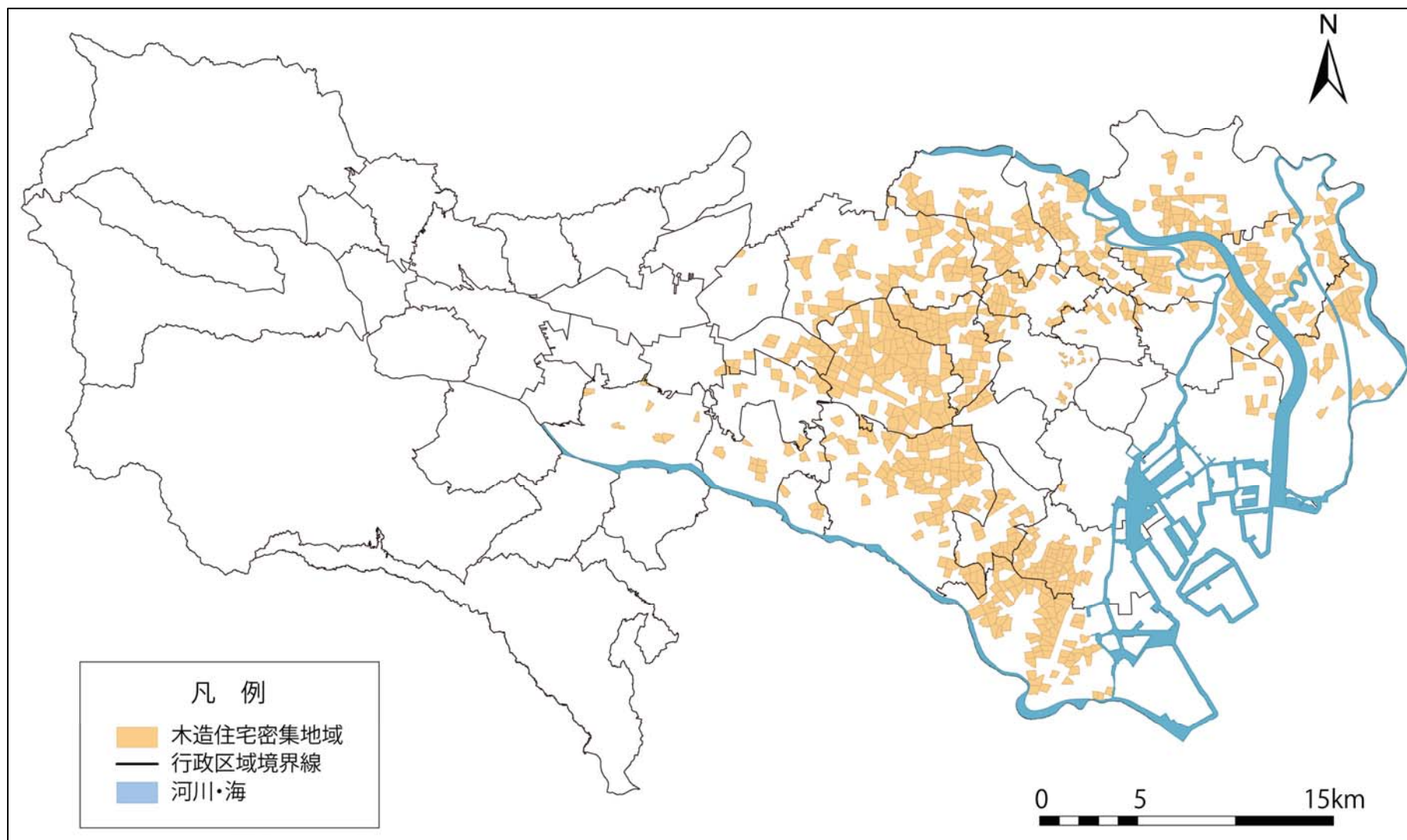
東京の水道施設の年代別整備量	35
浄水場施設能力と更新時期	36
区部の下水道管の整備延長	37
多摩地域の流域下水道幹線の年度別整備延長	38
多摩地域の流域下水道施設で耐用年数を超えて使用している割合	39
都営住宅建設年度別区市別ストック状況	40
都営住宅等の更新費推計（平成10年7月推計）	41

6 産業

県内総生産（名目）の推移	42
産業大分類別事業所数比較（全国・都・区市町村）	43
経営組織別事業所数の推移（東京都）	44
従業者規模別民営事業所の事業所数、従業者数構成比（2006年）	45

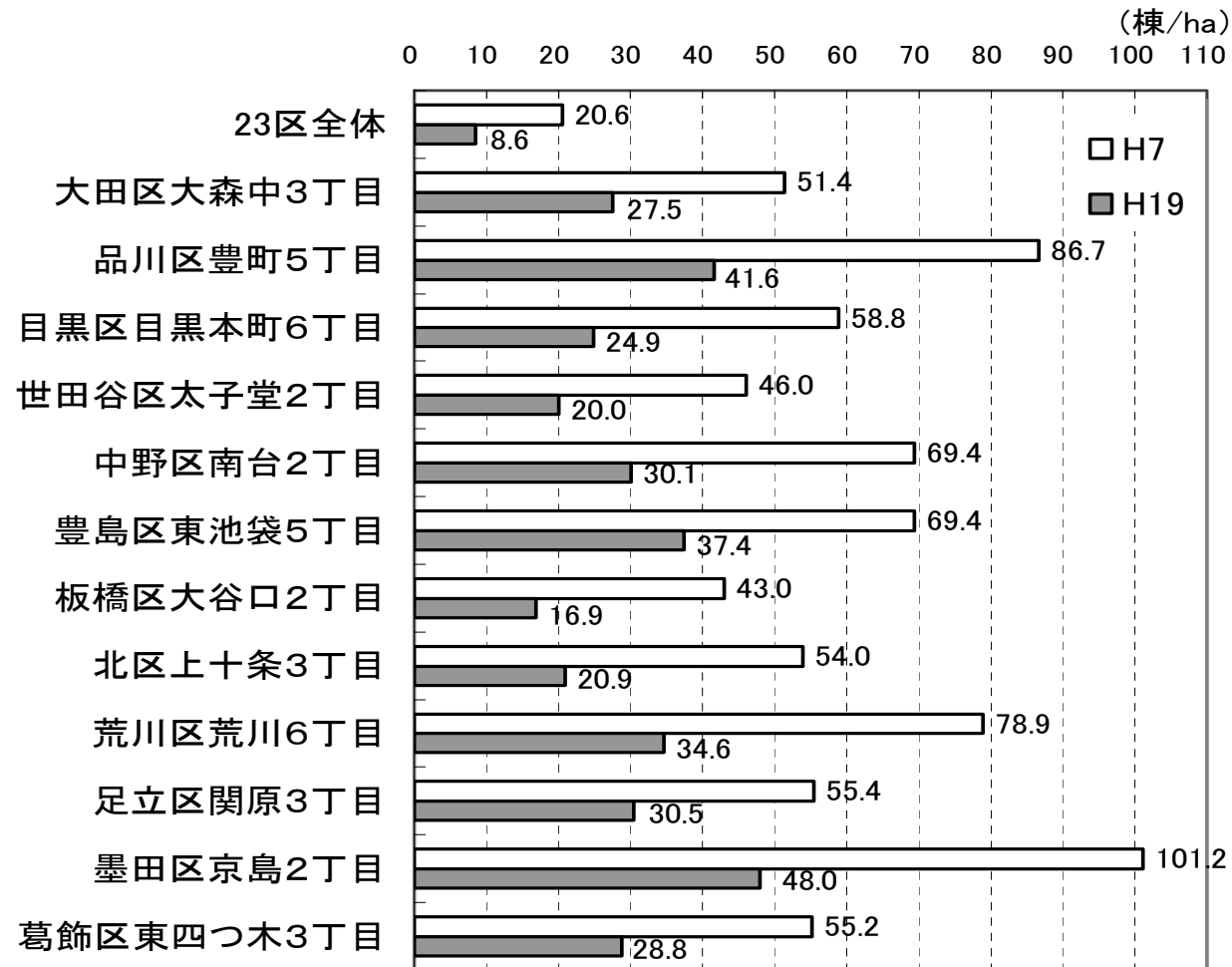
都内地域別、都道府県別会社企業数の構成比（2006年）	46
会社企業数（2006年）	47
区市町村別中小企業数、中小企業比率（2006年）	48
都内地域別、都道府県別資本金10億円以上の会社企業数の構成比（2006年）	49
都内資本金10億円以上の会社企業数（2006年）	50
産業大分類別、資本金階級別都内会社企業数の全国比（2006年）	51
企業の倒産件数の推移（負債総額1千万円以上）、倒産発生率（普通法人）（2007年度）	52
新設・廃業事業所割合（民営事業所）	53
都道府県別就職率の推移	54
有効求人倍率の推移（季節調整値・パートタイムを含む）	55
製造業の事業所数・従業者数・出荷額等全国比（2007年）	56
都内製造業（従業者4人以上）の産業中分類別、地域別事業所数の構成比（2007年）	57
都内製造業（従業者4人以上）の産業中分類別、地域別従業者数の構成比（2007年）	58
都内製造業（従業者4人以上）の産業中分類別、地域別製造品出荷額等の構成比（2007年）	59
都内製造業の事業所数、従業者数の推移	60
製造業の従業者規模別事業所数・出荷額等構成比（東京都・全国2007年）	61
都道府県別印刷・関連事業所数・出荷額等構成比、区市町村別出荷額等構成比（東京都・全国2007年）	62
都道府県別情報通信機械器具製造業事業所数・出荷額等構成比、区市町村別出荷額等構成比（東京都・全国2007年）	63
都道府県別精密機械器具製造業事業所数・出荷額等構成比、区市町村別出荷額等構成比（東京都・全国2007年）	64
卸売・小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額の全国比（2007年）	65
卸売業の事業所数、年間商品販売額の区市町村別分布状況（2007年）	66
卸売業の従業者規模別事業所数、従業者数、年間商品販売額構成比（東京都、2007年）	67
卸売業の業種別年間商品販売額（東京都、2007年）	68
都内小売業の区市町村別事業所数、従業者数、年間商品販売額、売場面積構成比（2007年）	69
都内小売業の業種別事業所数、年間商品販売額の全国比（2007年）	70
都内小売業の業態別事業所数、従業者数、年間商品販売額、売場面積の構成比（2007年）	71
都内商店街数（2007年）	72
都内商店街における空き店舗の状況（2007年）	73
現在の空き店舗の以前の業種別店舗数（2007年）	74
サービス業の事業所数、従業者数の推移（東京都）	75
サービス業の新産業分類中分類別事業所数・従業者数全国比（東京都、2006年）	76
サービス業の中分類別都道府県別収入額構成比（2004年）	77
情報通信業の都道府県別事業所数の全国比、小分類別都内事業所数（2006年）	78
情報通信業の都道府県別従業者数の全国比、小分類別都内従業者数（2006年）	79
情報処理・提供サービス業の事業所数、従業者数、年間売上高の全国比（2008年）	80
ソフトウェア業の事業所数、従業者数、年間売上高の全国比（2008年）	81
都道府県別金融、保険業の事業所数、従業者数構成比、都内中分類別構成比（2006年）	82
都内金融・保険業における中分類別事業所数、従業者数の全国比（2006年）	83
都道府県別金融、保険業の生産額構成比（2007年度）	84
都道府県別証券会社全営業所、本店営業所数構成比（全国、2009年）	85
都道府県別国内銀行預金高構成比（全国、2009年3月末）	86
貸金業登録業者数の推移（東京都）	87
都内農林水産物生産額の推移	88
都内の年齢別農林漁業従業者構成比（2005年）	89
主な農林水産物の地域別分布（東京都、2005年）	90
都内種類別、地域別農地面積構成比（2007年）	91
耕地10a当たりの生産農業所得（東京都、2006年）	92
森林の流域別分布図（東京都、2008年）	93
都内地域別漁業経営体数、漁獲金額の推移	94
種類別水産物生産額構成比（東京都、2007年）	95

木造住宅密集地域の分布状況

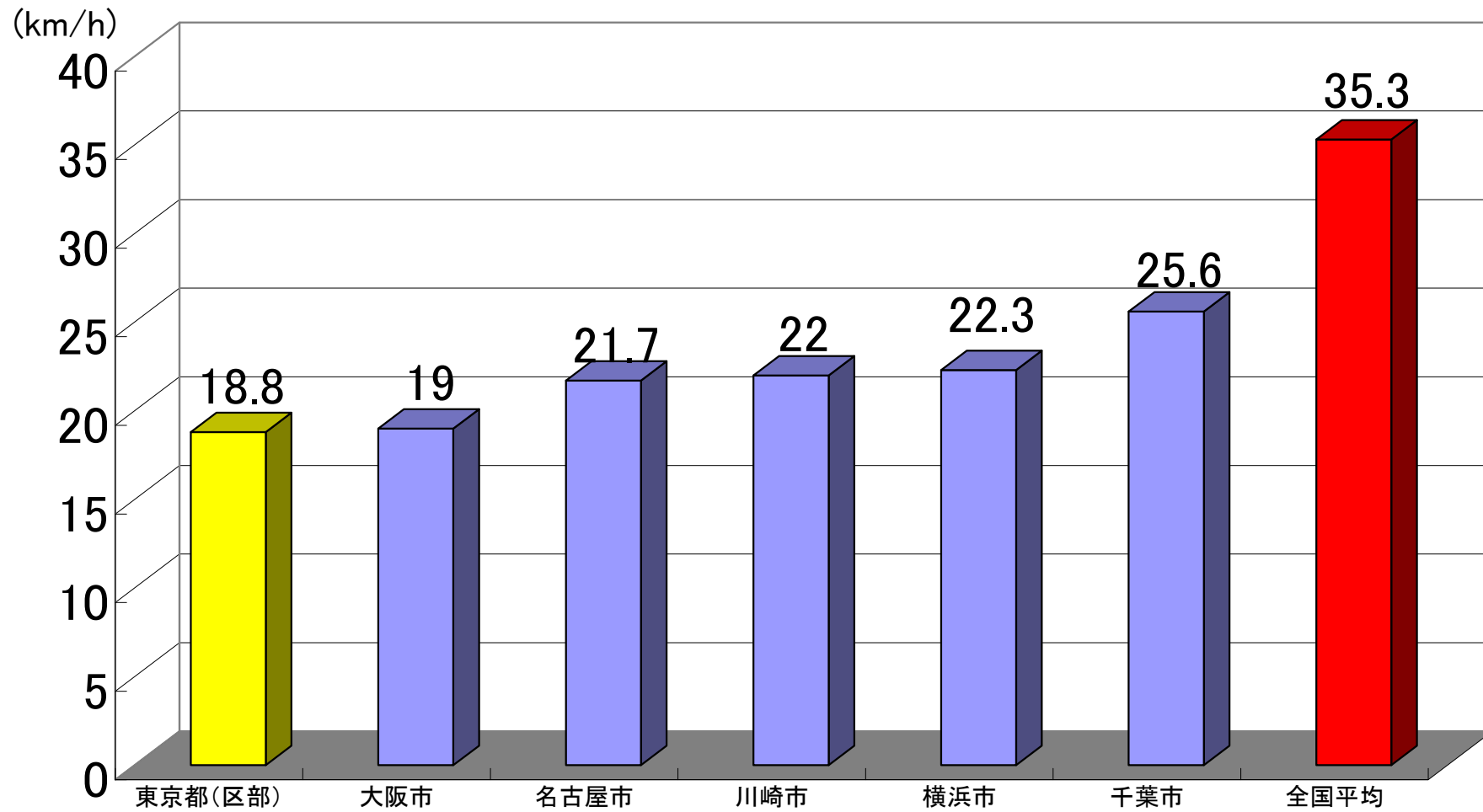


東京都都市整備局「防災都市づくり推進計画」(平成 22 年 1 月改訂)より

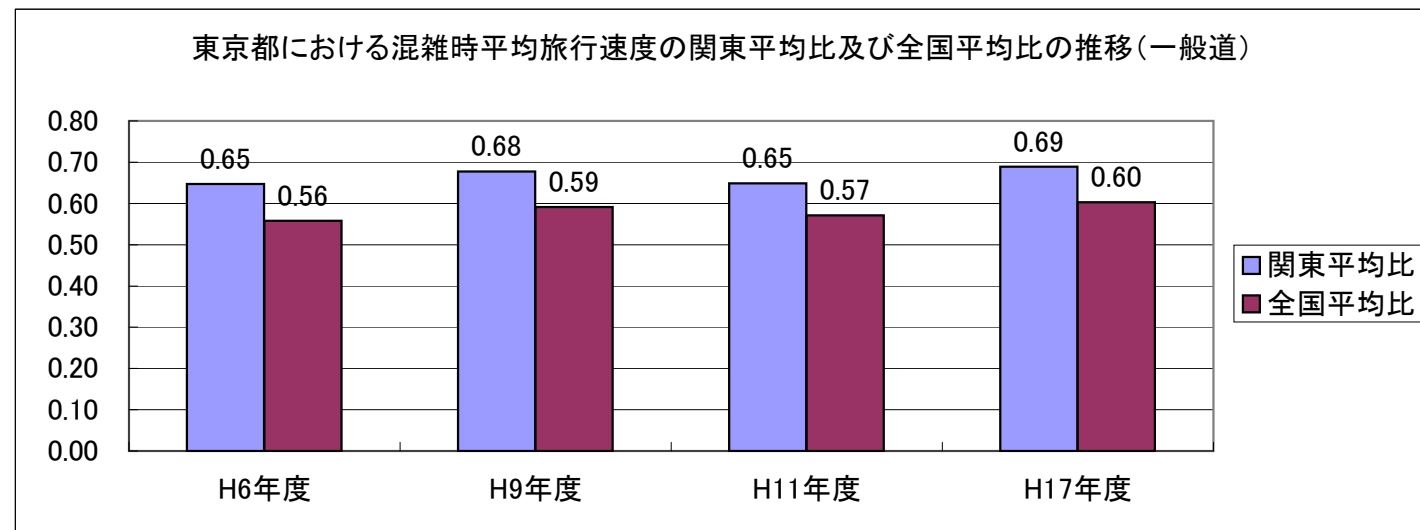
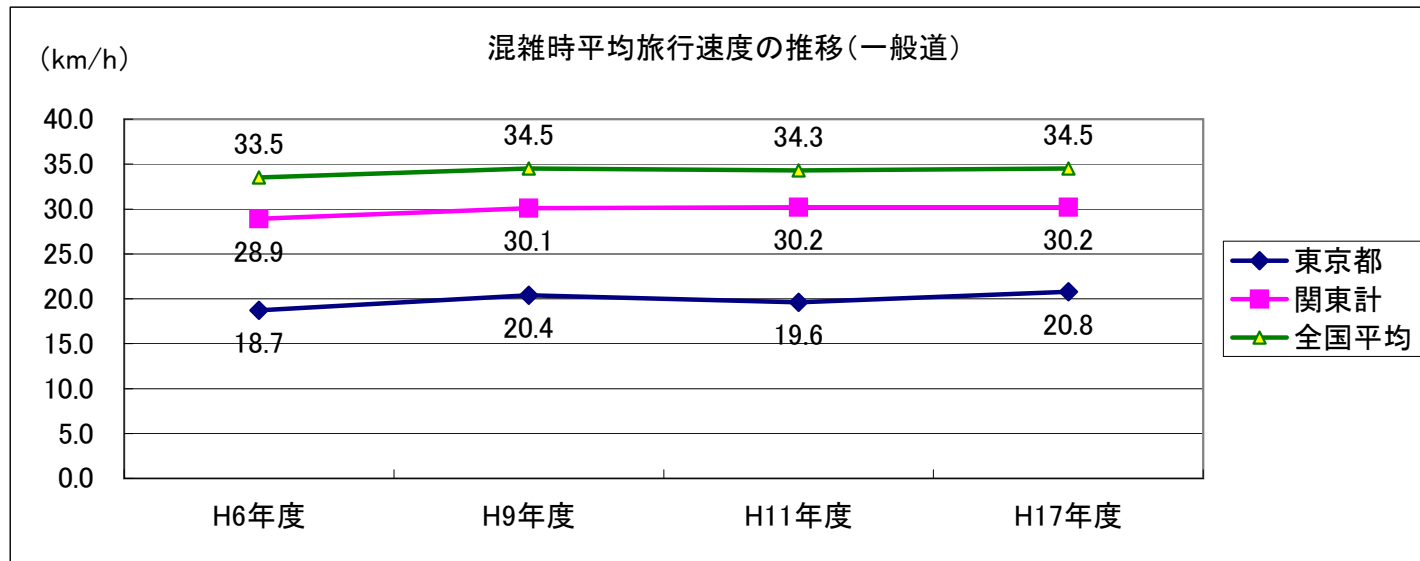
昭和 55 年以前木造建物棟数密度の状況



道路混雑時の平均旅行速度(他都市との比較)



道路混雑時平均旅行速度の推移



首都圏の渋滞による損失額等

●現況（平成17年4月現在）

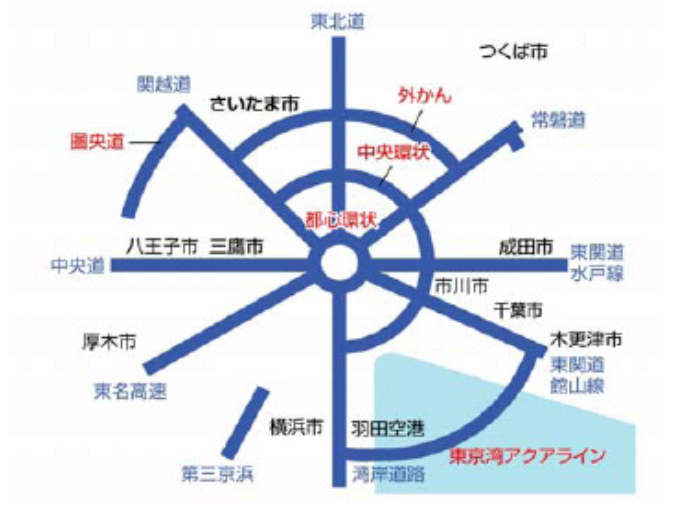
整備状況：放射9割、環状2割

交通状況：

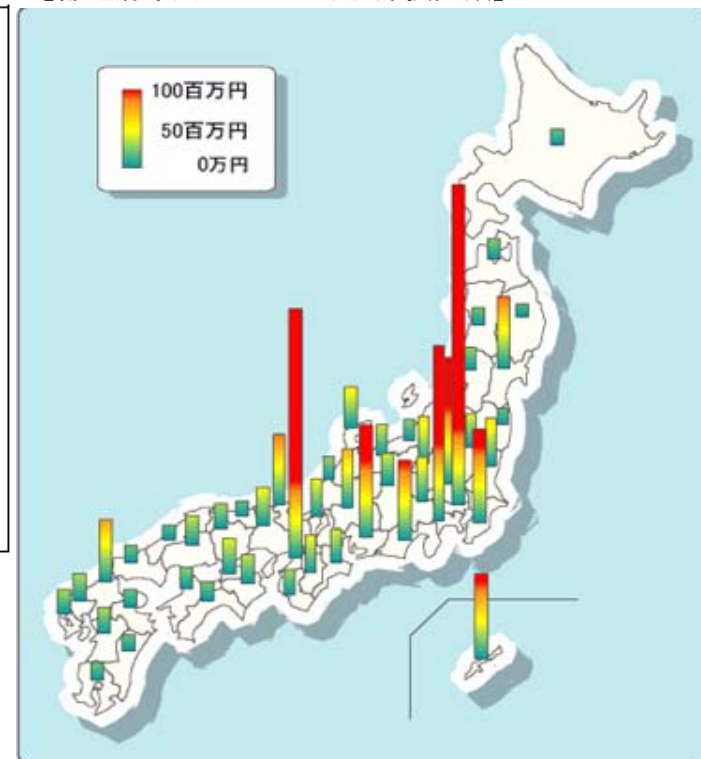
- ・東京都区部境界をまたぐ交通の
約14%は通過交通
- ・首都高速都心環状線の交通の
約6割は通過交通
- ・圏央道内側の主要渋滞ポイントは
約600箇所

渋滞による損失額

全 国：年間約12兆円
 首都圏：年間約2.8兆円
 東京都：年間約1.2兆円

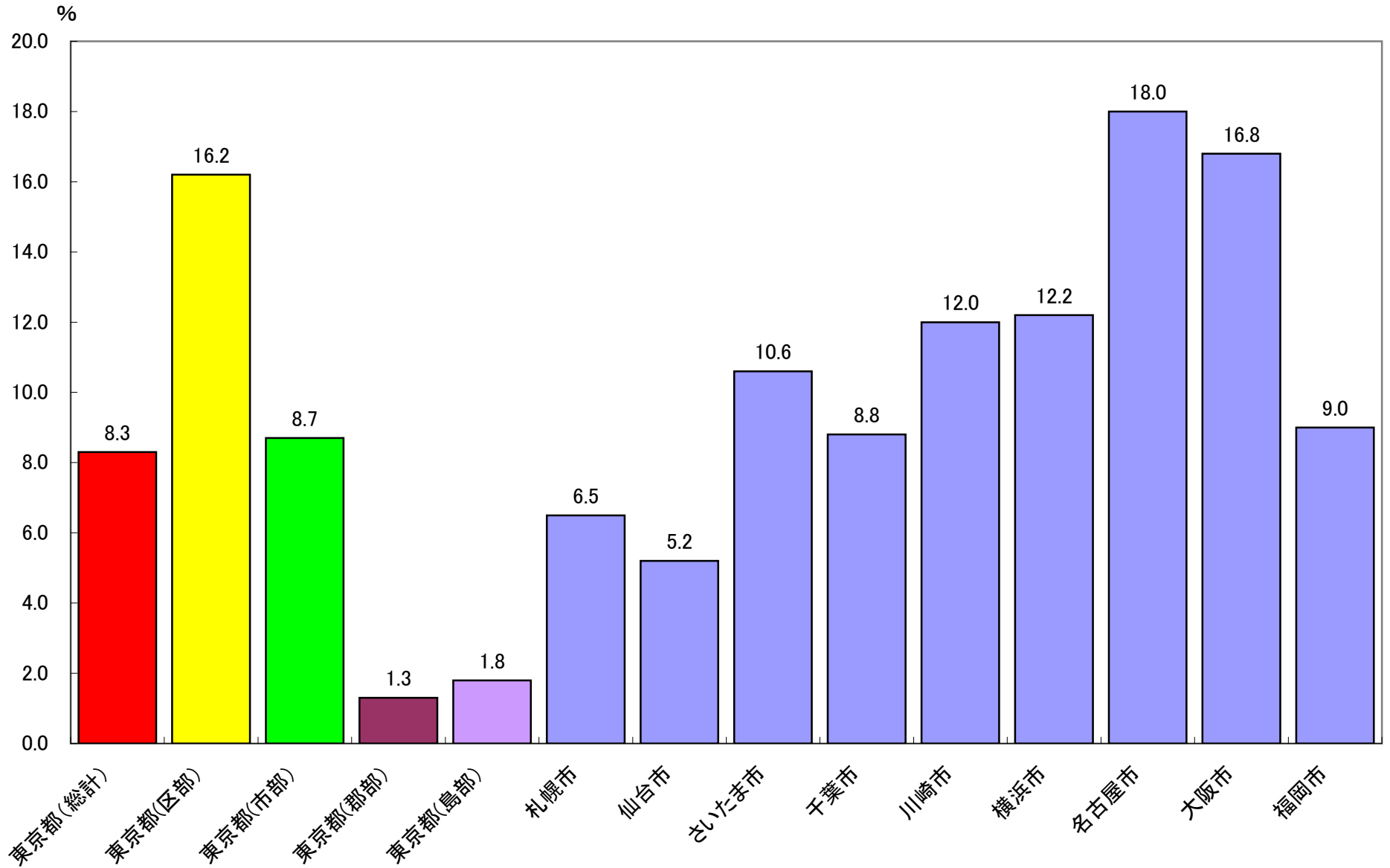


【都道府県別1km当たり渋滞損失額】



国土技術政策総合研究所「東京圏における社会資本の効用」(平成17年7月)より転載
 国土交通省道路局ホームページより転載

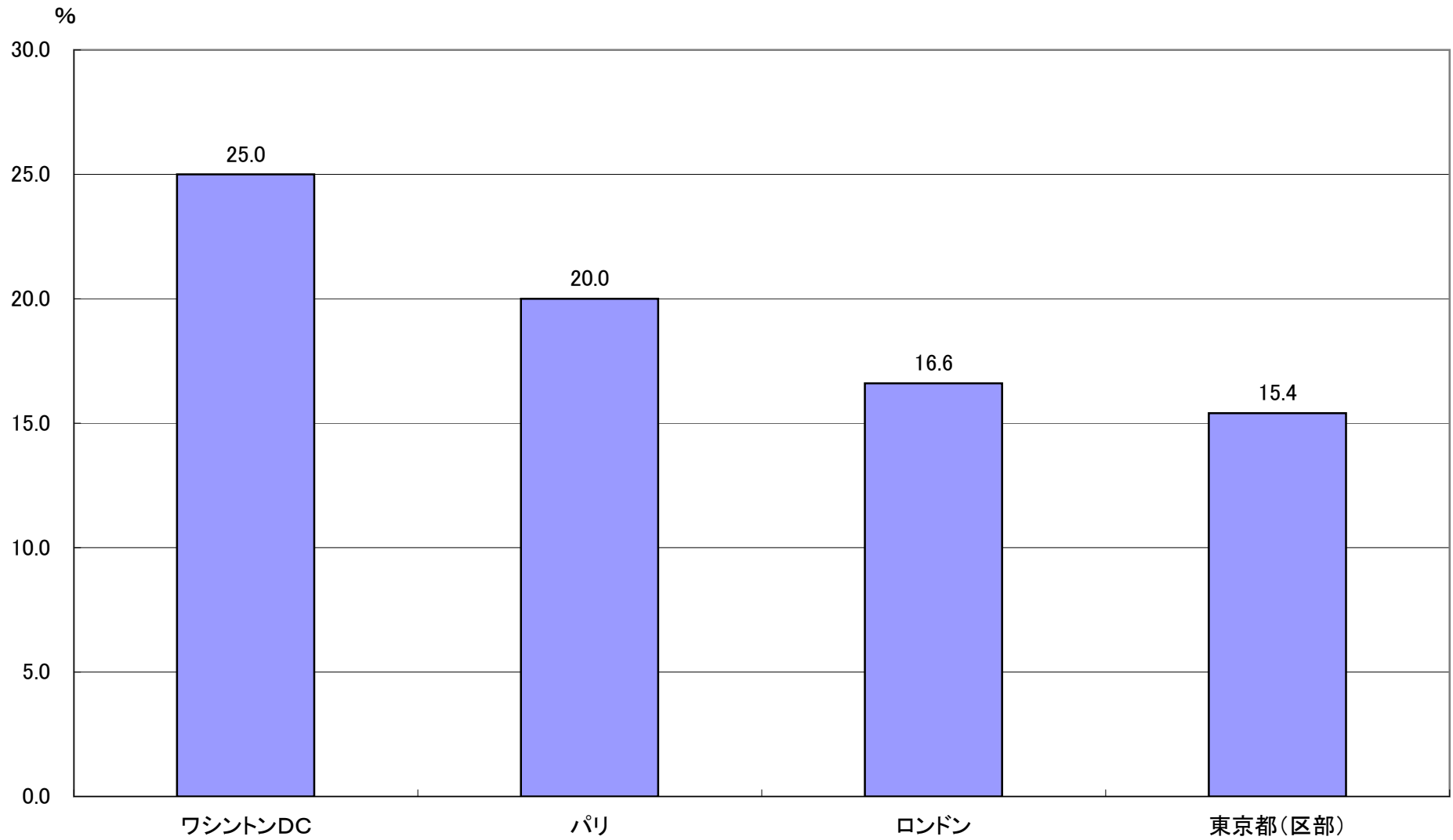
道路率の国内都市比較



東京都建設局「東京都道路現況調書 平成21年度」より作成

※道路率:行政面積中に占める道路面積の割合

道路率の海外都市比較



「東京都の道路2000」により作成

※2009.4時点で東京都(区部)は16.2%

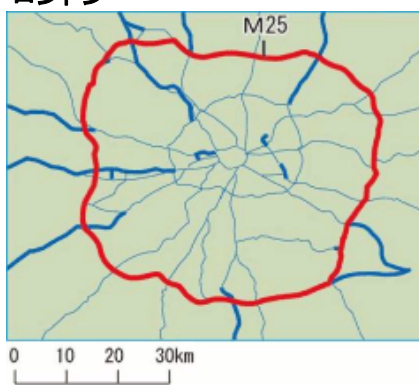
環状道路の整備状況(海外都市比較図)

東京



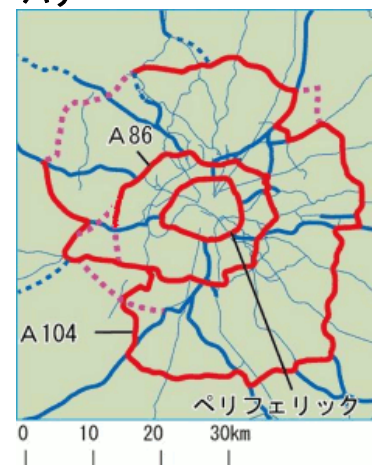
2010年4月		
計画延長	供用延長	整備率
約520km	約245km	約47%

ロンドン



2007年		
計画延長	供用延長	整備率
188km	188km	100%

パリ



2009年		
計画延長	供用延長	整備率
313km	267km	85%

ベルリン



2007年		
計画延長	供用延長	整備率
223km	217km	97%

北京



2009年		
計画延長	供用延長	整備率
433km	433km	100%

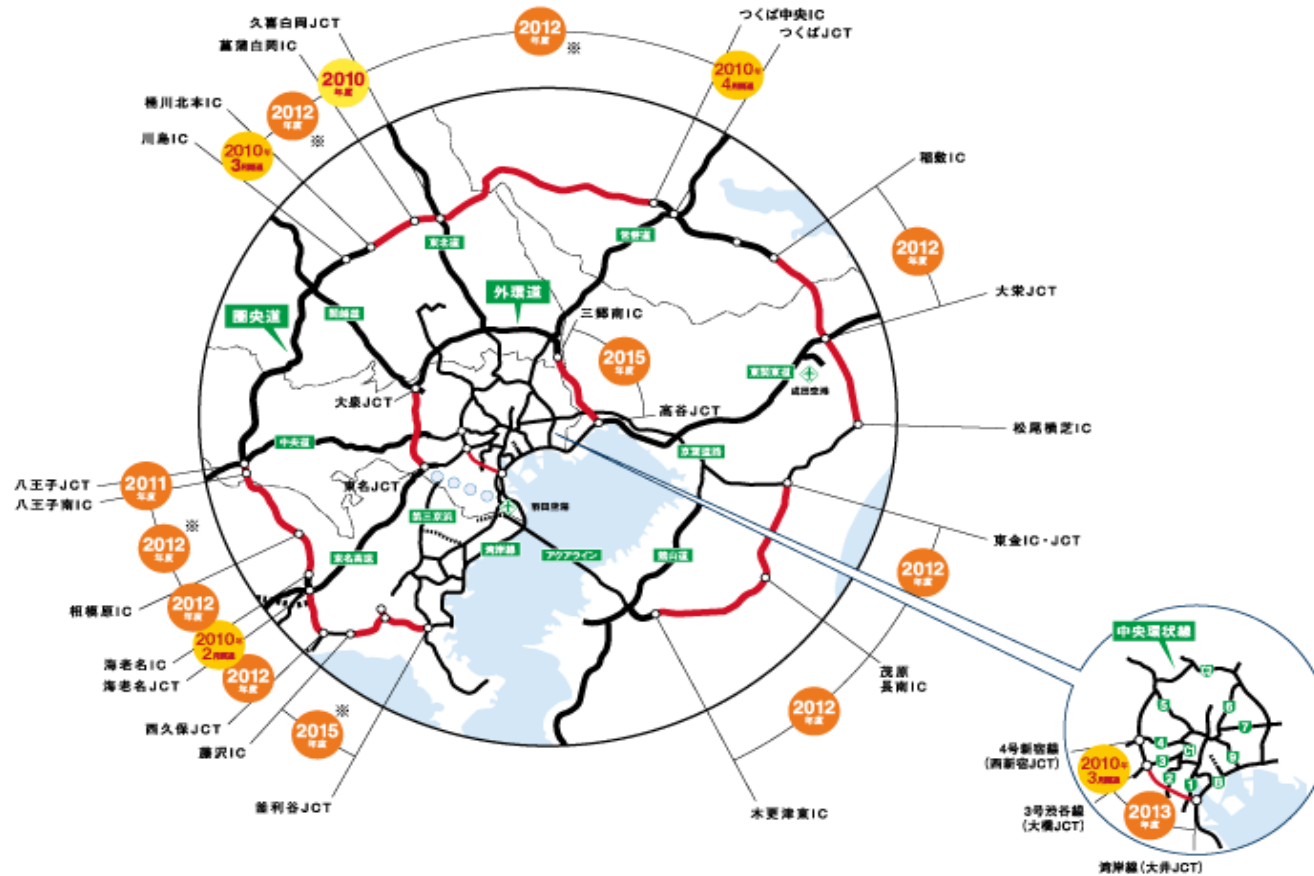
ソウル



2007年		
計画延長	供用延長	整備率
168km	168km	100%

国土交通省(関東地方整備局道路部)ホームページより作成

3環状道路の開通目標

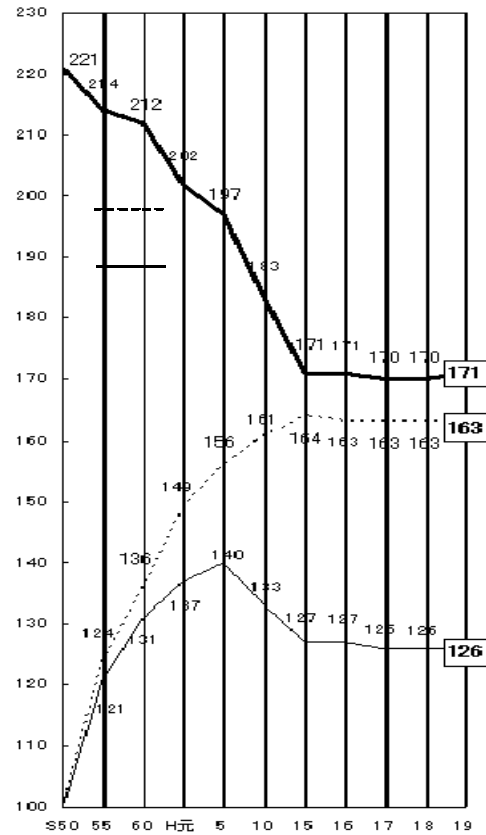


- ◆※印区間の開通年度については現在検討中
- ◆未開通区間のIC・JCT名は仮称(つくば中央ICを除く)
- ◆開通目標は2010年4月時点(圏央道つくば中央IC～つくばJCTは4月24日開通)
- ◆3環状(三環状)とは、「圏央道(首都圏中央連絡自動車道)」、「外環(東京外かく環状道路)」、「中央環状(首都高速道路中央環状線)」の3つの環状道路の総称。

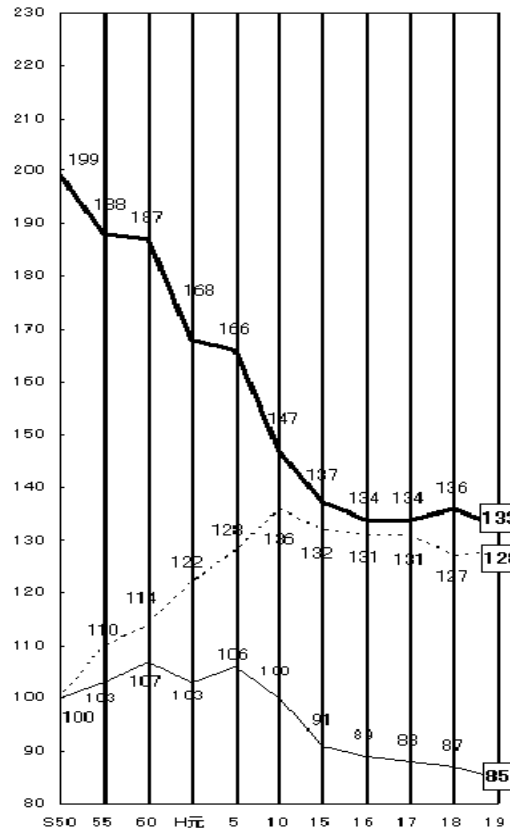
国土交通省ホームページより

三大都市圏の最混雑区間における平均混雑率・輸送力・輸送人員の推移

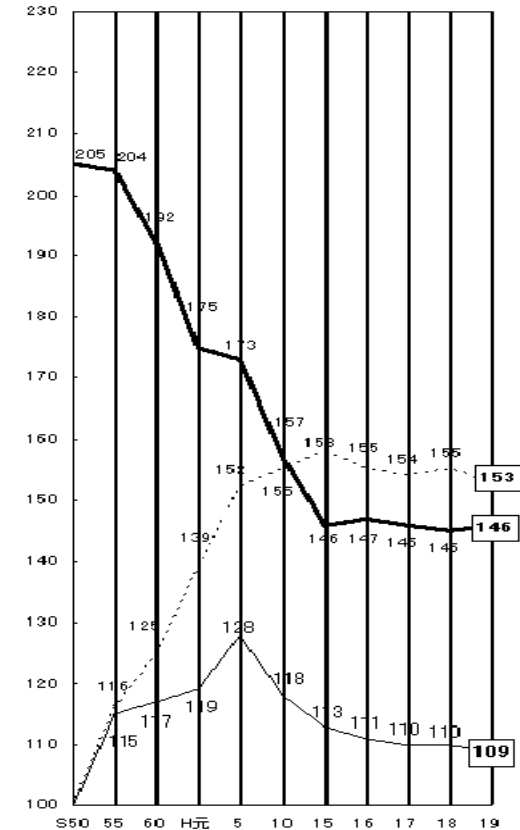
(東京圏)



(大阪圏)

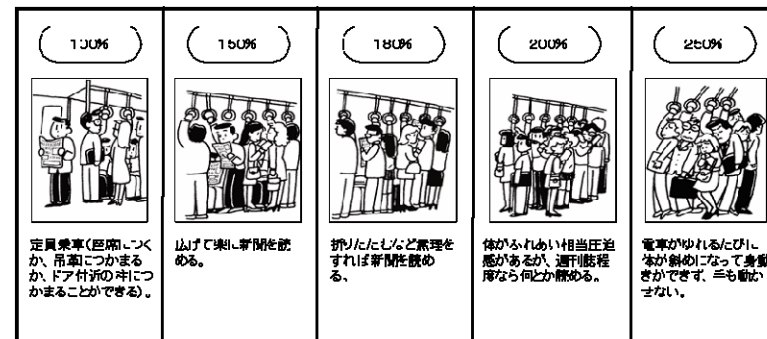


(名古屋圏)

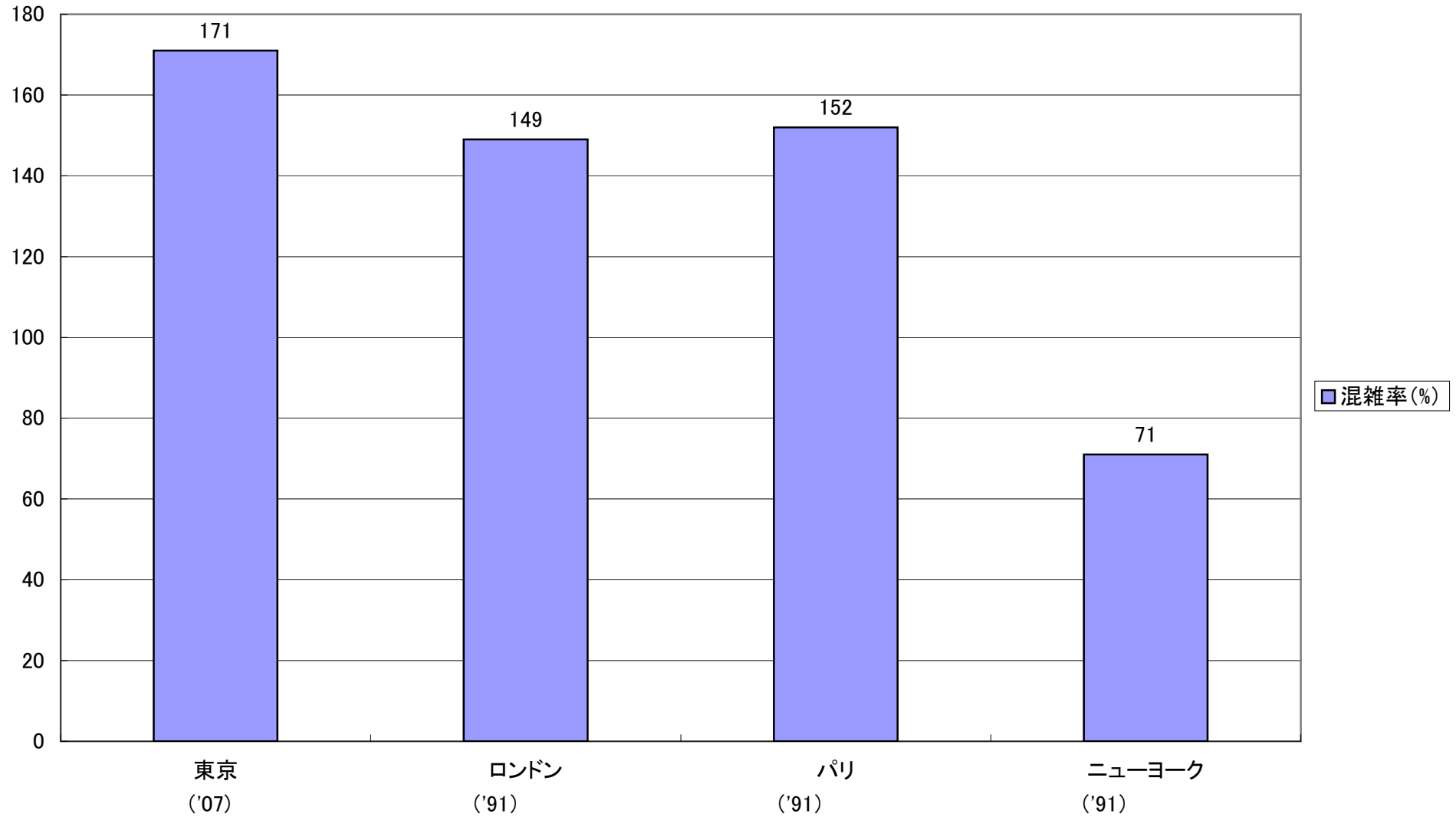


————— : 混雑率 (%)
 - - - - - : 輸送力 (指数: 昭和50年度=100)
 ————— : 輸送人員 (指数: 昭和50年度=100)

東京圏 31区間
 大阪圏 20区間
 名古屋圏 8区間

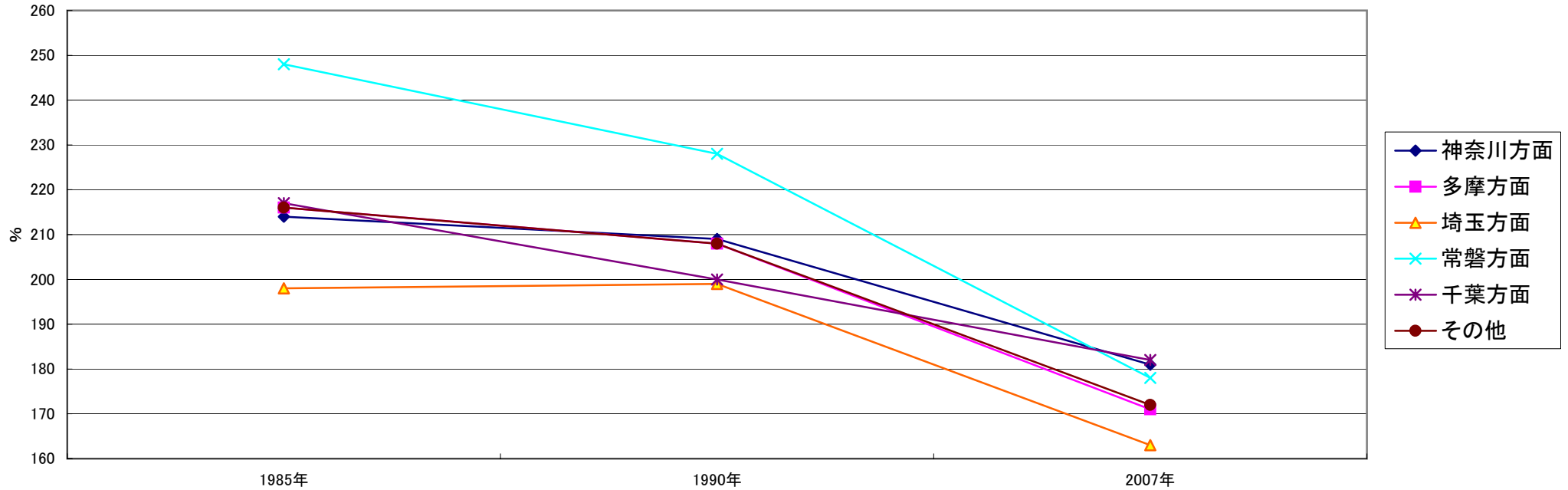


鉄道混雑率の海外都市比較



平成20年度 国土交通白書(参考資料編)により作成

路線別混雑率の推移



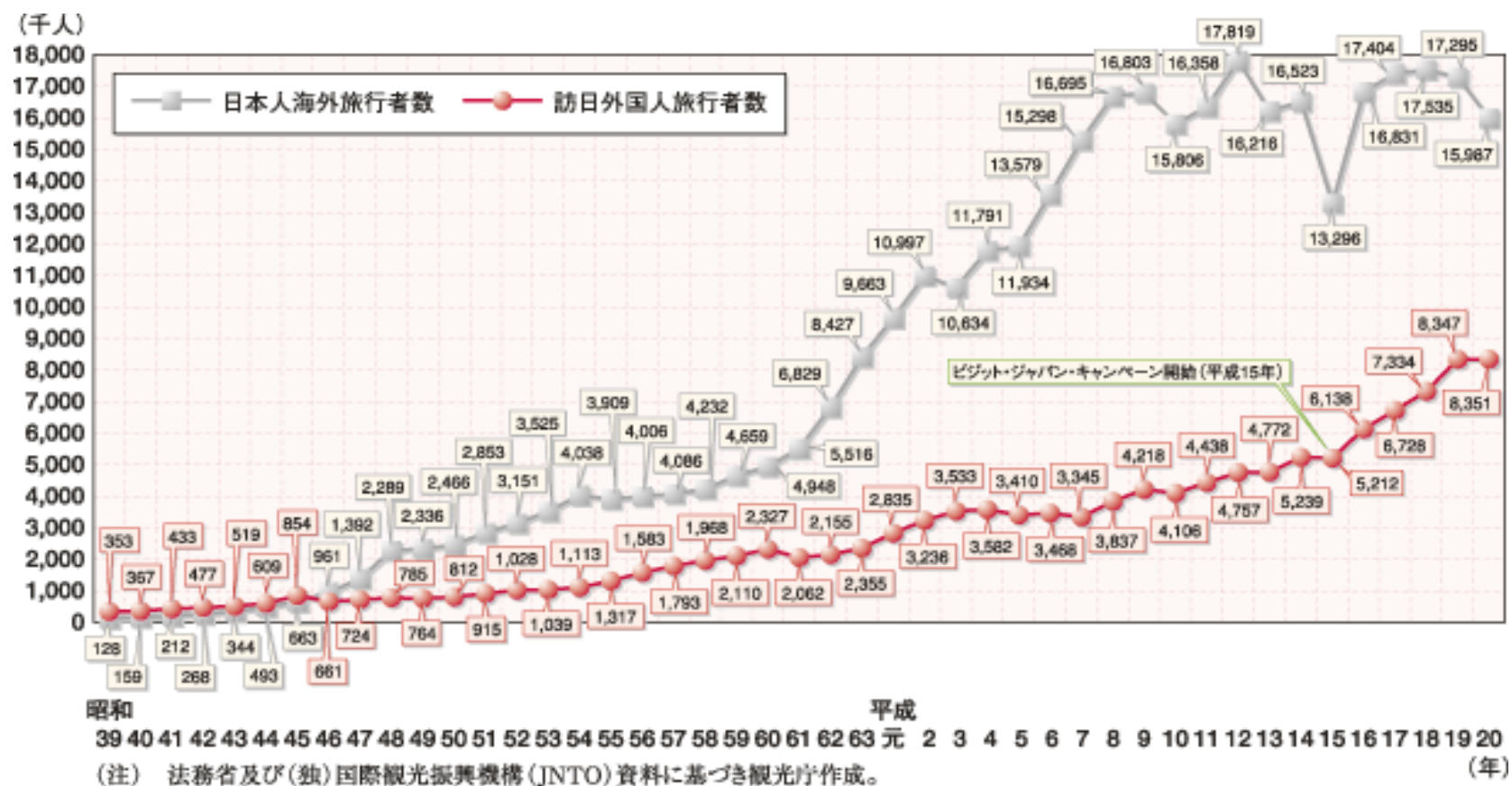
※「都市交通年報」に記載のある路線のうち、主要31区間及び最混雑1時間当たりの輸送量が3万人を超える路線について国土交通省資料に基づき記載

運輸振興協会発行 国土交通省監修：
数字で見る関東の運輸の動き2009により作成

路線別混雑率ワースト順位 (2007年)

ワースト順位	方面	路線名	最混雑区間の混雑率 (%)	最混雑区間
第1位	その他	J R 京浜東北線	209	上野 → 御徒町
第2位	千葉	J R 総武線緩行	206	錦糸町 → 両国
第3位	その他	J R 山手線	205	上野 → 御徒町
第4位	埼玉	J R 埼京線	200	板橋 → 池袋
第5位	神奈川	民鉄 東急田園都市線	198	池尻大橋 → 渋谷
〃	多摩	J R 中央線快速	198	中野 → 新宿
〃	千葉	J R 京葉線	198	葛西臨海公園 → 新木場

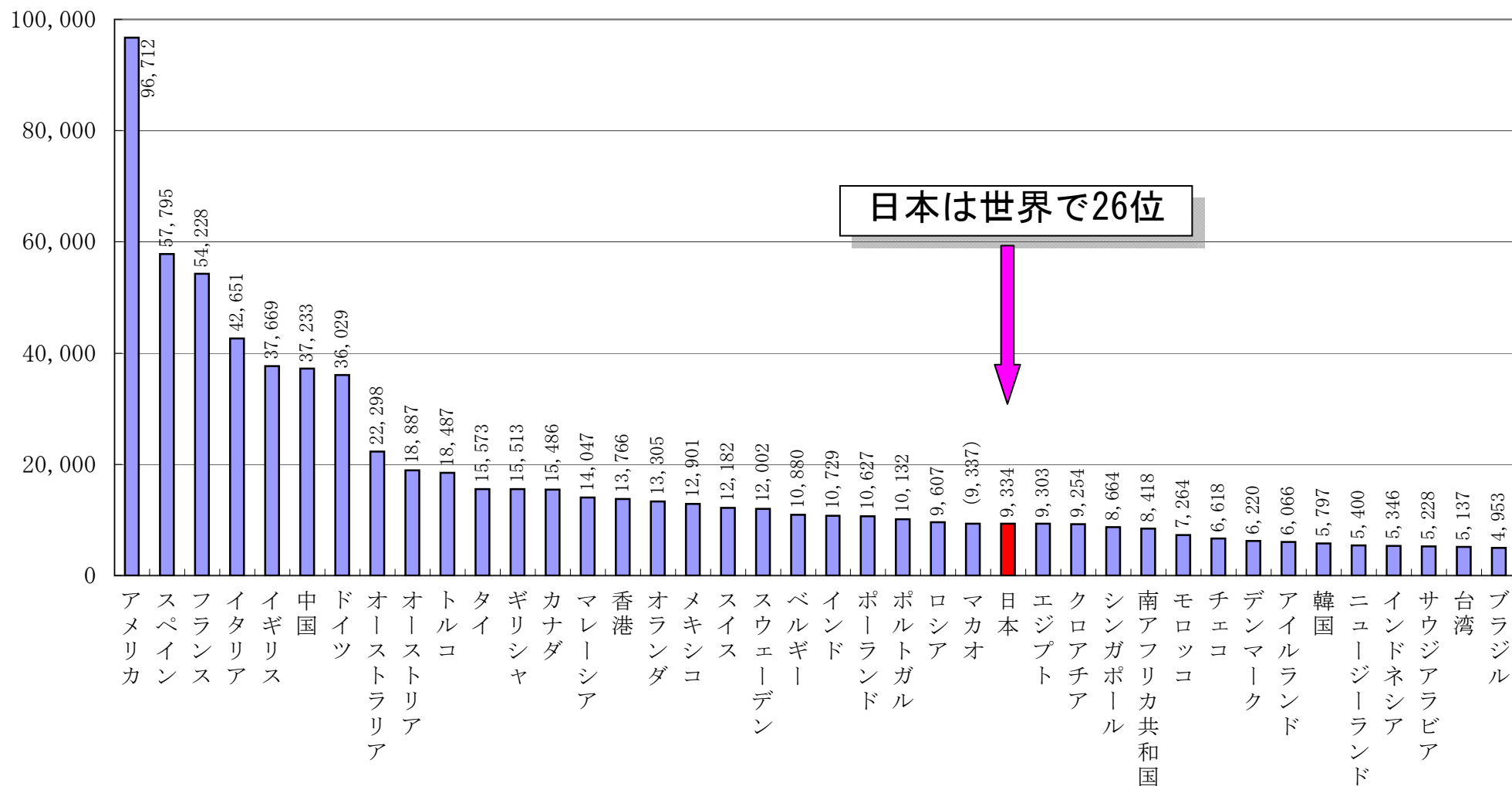
日本人海外旅行者数・訪日外国人旅行者数の推移



(資料) 平成21年版観光白書より作成

国際旅行収入ランキング（平成19年）

（百万米ドル）

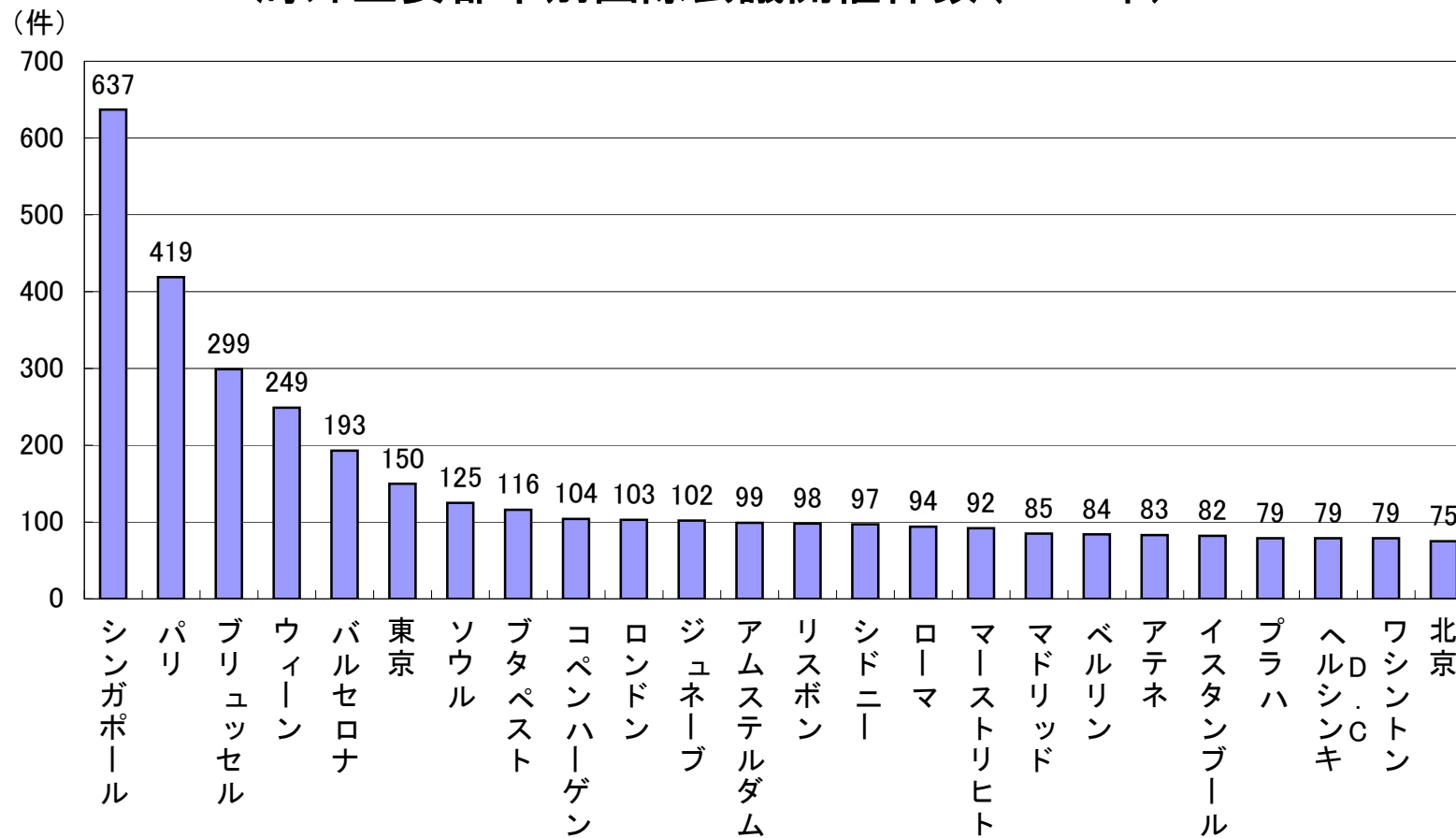


日本は世界で26位

- （注）
- 1 世界観光機関（UNWTO）資料に基づき（独）国際観光振興機構（JNTO）作成。
 - 2 本図の数値は2008年10月時点の暫定値である。（ ）は2007年の数値が公表されていないため、2006年の数値を利用した。
 - 3 本図の国際旅行収入には、国際旅客運賃が含まれていない。

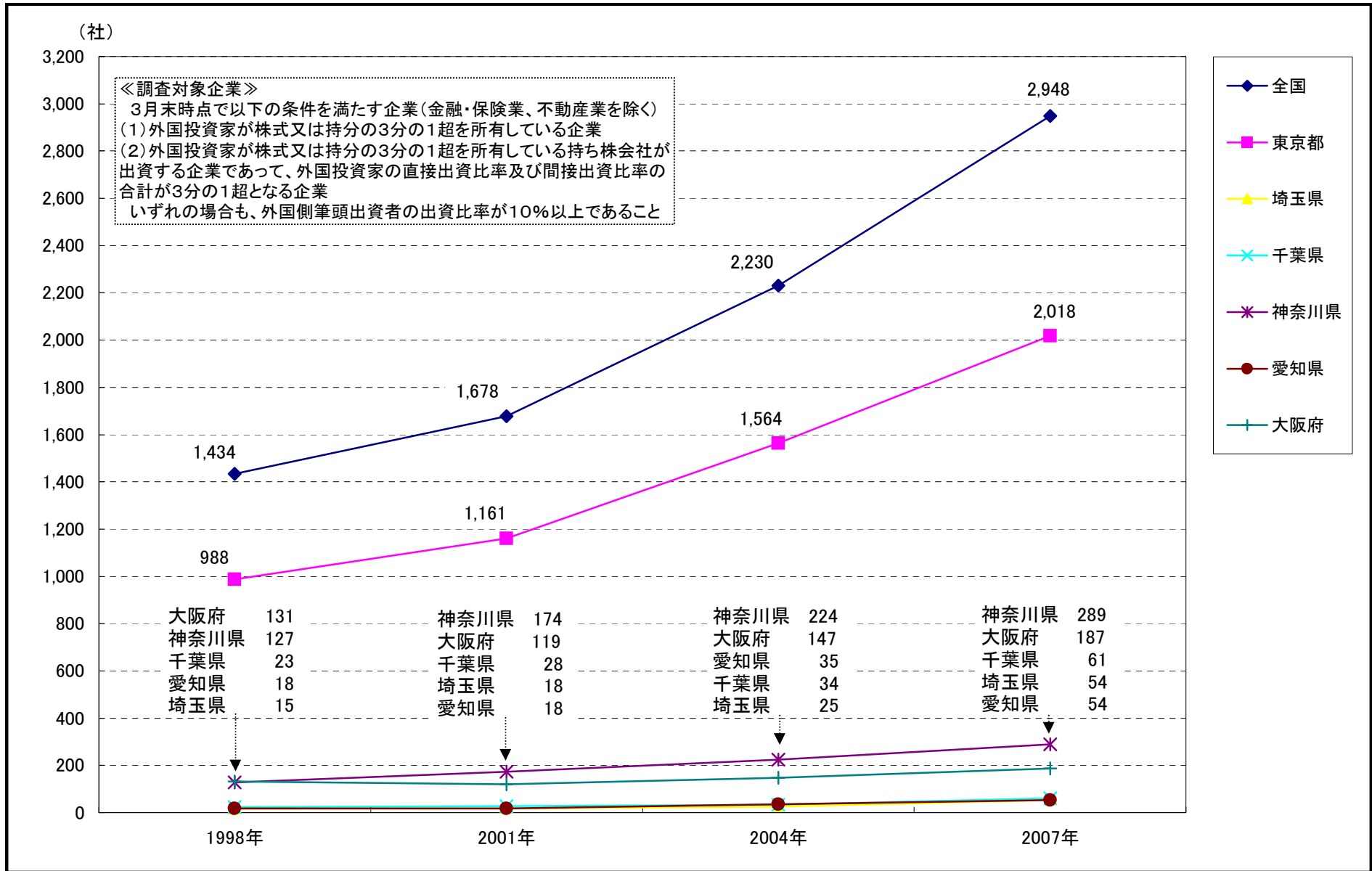
（資料）平成21年版観光白書より作成

海外主要都市別国際会議開催件数(2008年)



日本政府観光局 2008年国際会議統計より作成

外資系企業数の推移

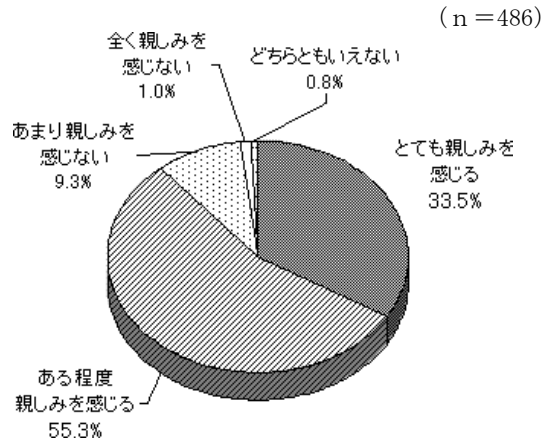


経済産業省「外資系企業動向調査」より作成

東京都における地域の活動に関する意識調査

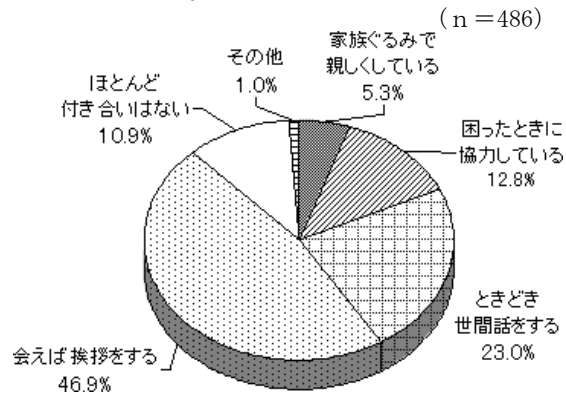
地域への親しみ

Q 2 : あなたは、住んでいる地域に対して親しみを感じますか。



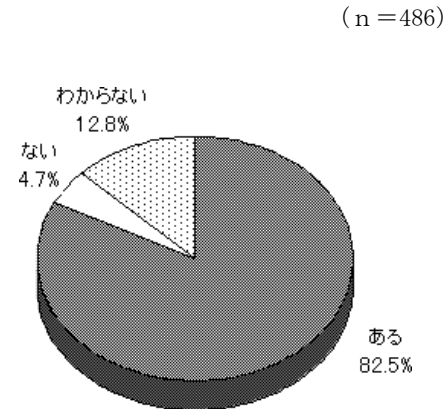
隣人との関わり

Q 3 : あなたは、隣近所（両隣と向こう三軒程度）にお住まいの方々とどのようにお付き合いをされていますか。



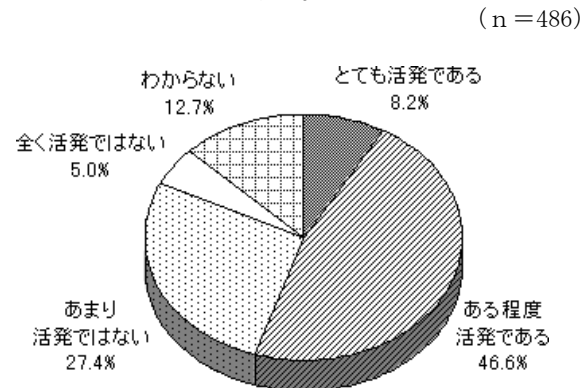
自治会組織の有無

Q 4 : あなたのお住まいの地域には、自治会組織（自治会、町内会、町会など）がありますか。



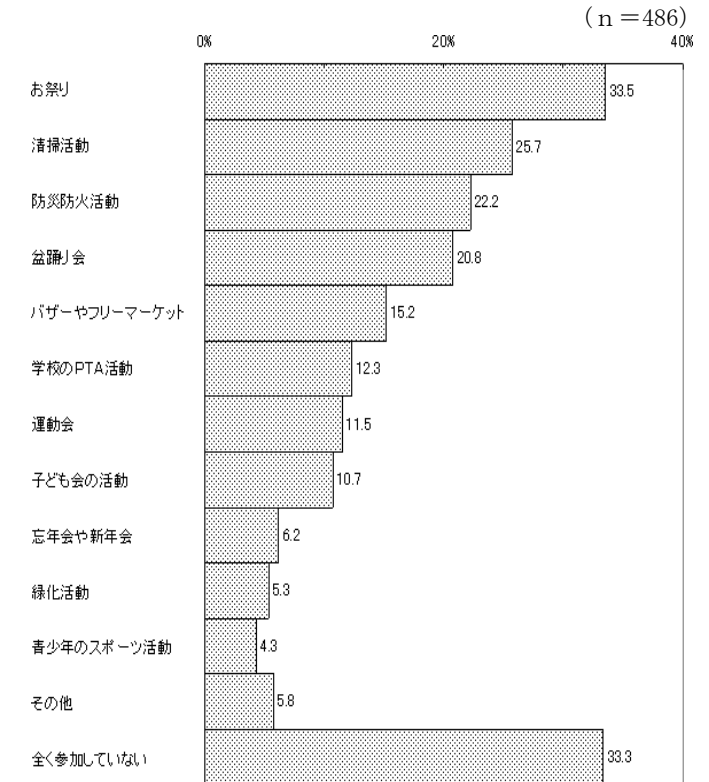
自治会活動の活発さ

Q 5 : (Q 4で「ある」と答えた方へ) あなたの住まいの地域では、自治会組織の活動は活発におこなわれていますか。



地域の活動や行事への参加

Q 6 : あなたは、お住まいの地域の次のような活動や行事（防犯活動への参加を除く）に参加していますか。

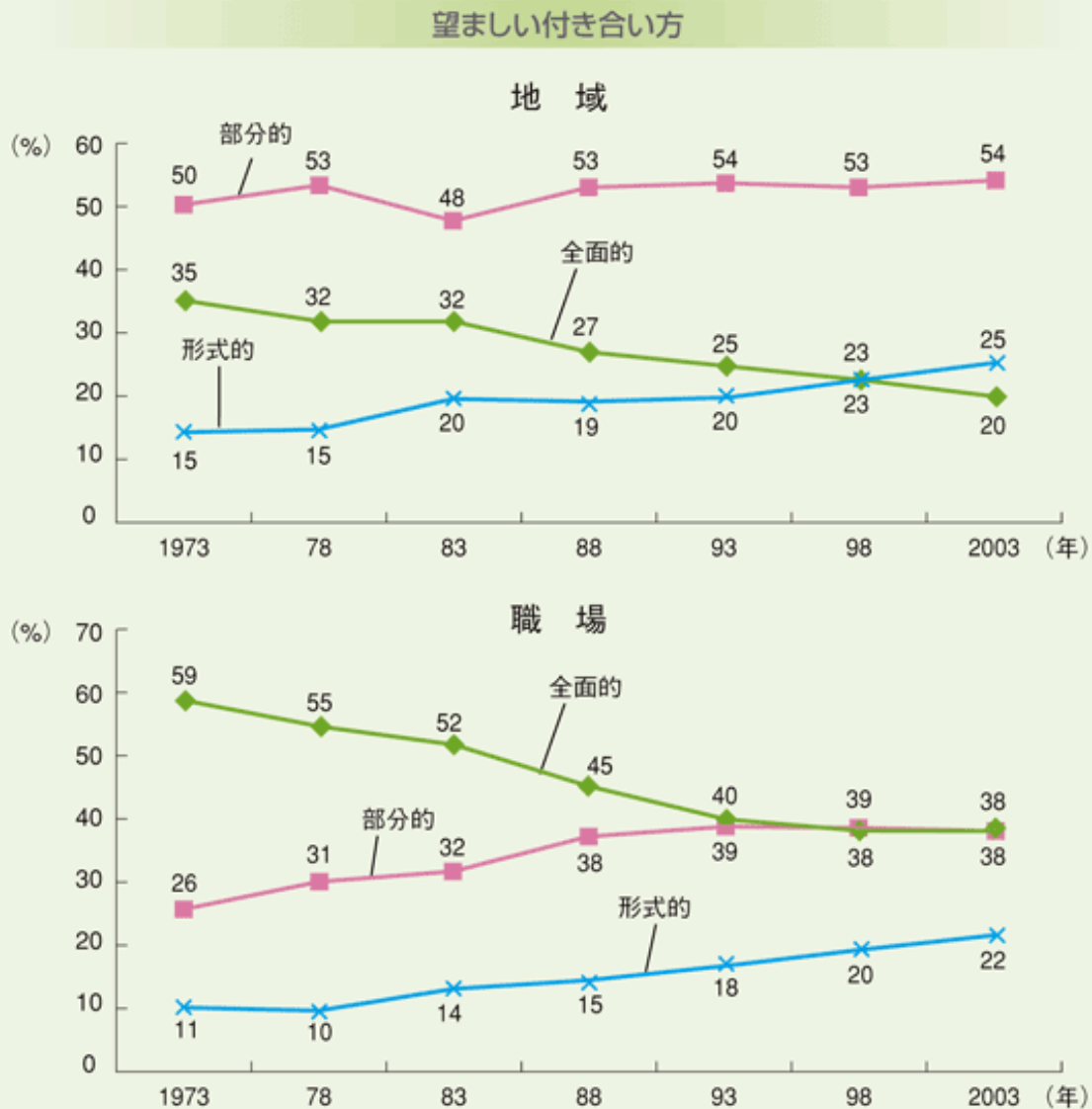


人のつながりに関する意識調査 (人との望ましい付き合い方)

「地域」、「職場」においては、全面的な深いつながりを求める意識が総じて弱まり、その一方で適度に距離を置いた緩やかなつながりを求める意識が強まっていると考えられる。

第5図

付き合い方は「部分的」な付き合いが望まれる傾向

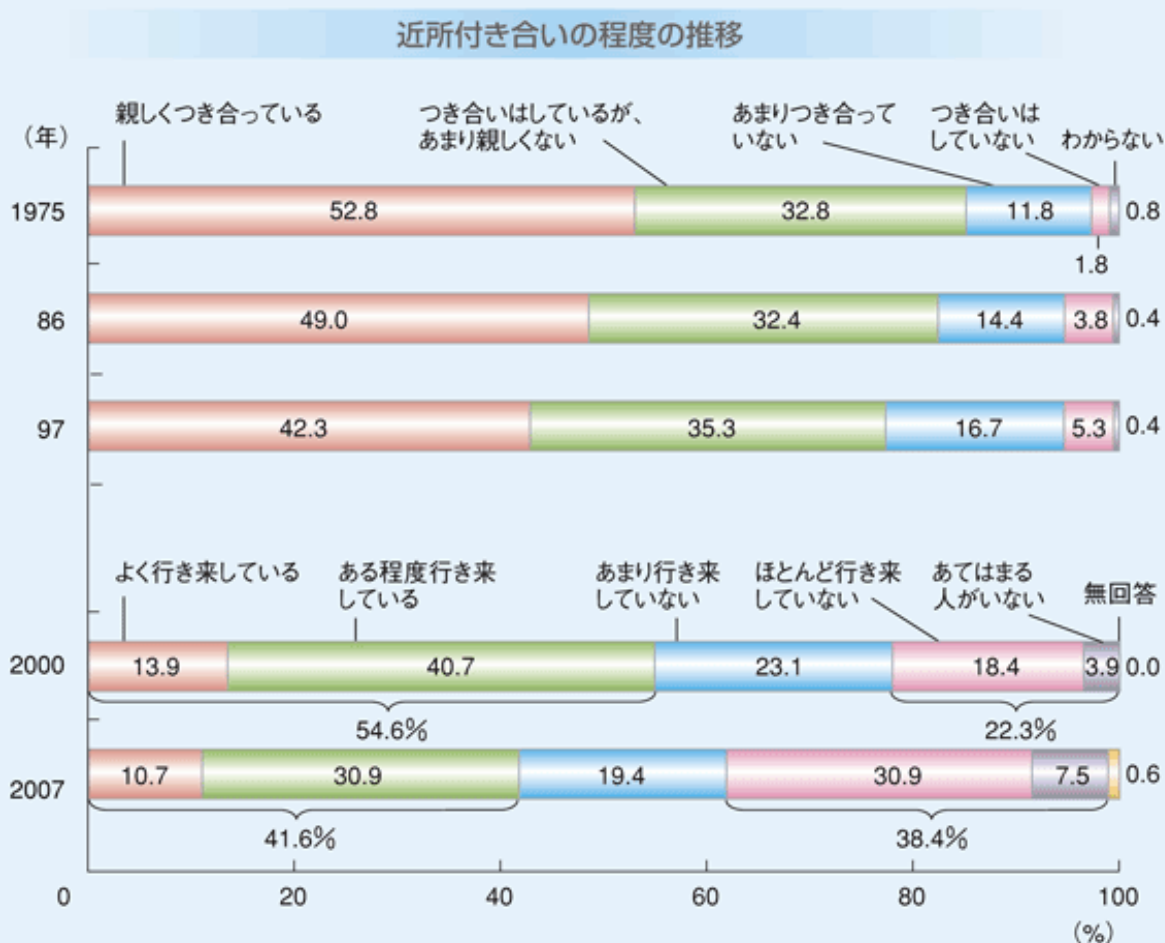


- (備考)
- NHK放送文化研究所「現代日本人の意識構造」により作成。
 - 地域については、「リストには、隣近所の人とのつきあいのしかたがのせてあります。あなたはどれが望ましいとお考えですか。実際にどのようにしているかは別にして、ご希望に近いものをお答えください。」との間に対して、「会ったときに、あいさつする程度のつきあい(形式的)」、「あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい(部分的)」、「なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい(全面的)」、「その他」、「わからない」のうち、全面的、部分的、形式的と回答した者の割合。
 - 職場については、「職場の同僚とは、どんなつきあいをするのが望ましいと思いますか。リストの中からお答えください。」との間に対して、「仕事に直接関係する範囲のつきあい(形式的)」、「仕事が終わってから、話し合ったり遊んだりするつきあい(部分的)」、「なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい(全面的)」、「その他」、「わからない」のうち、全面的、部分的、形式的と回答した者の割合。
 - 回答者は、全国16歳以上の男女。

人のつながりに関する意識調査 (近所付き合いの程度の推移)

近所付き合いをどの程度しているか尋ねた結果を見ると、「親しくつき合っている」が75年には52.8%と半数を超えていたが、97年には42.3%に下落している。一方、「あまりつき合っていない」が同じ時期に11.8%から16.7%に高まるなど、近隣関係の希薄化を見て取れる。

第2-1-19図 近隣関係は希薄になっている



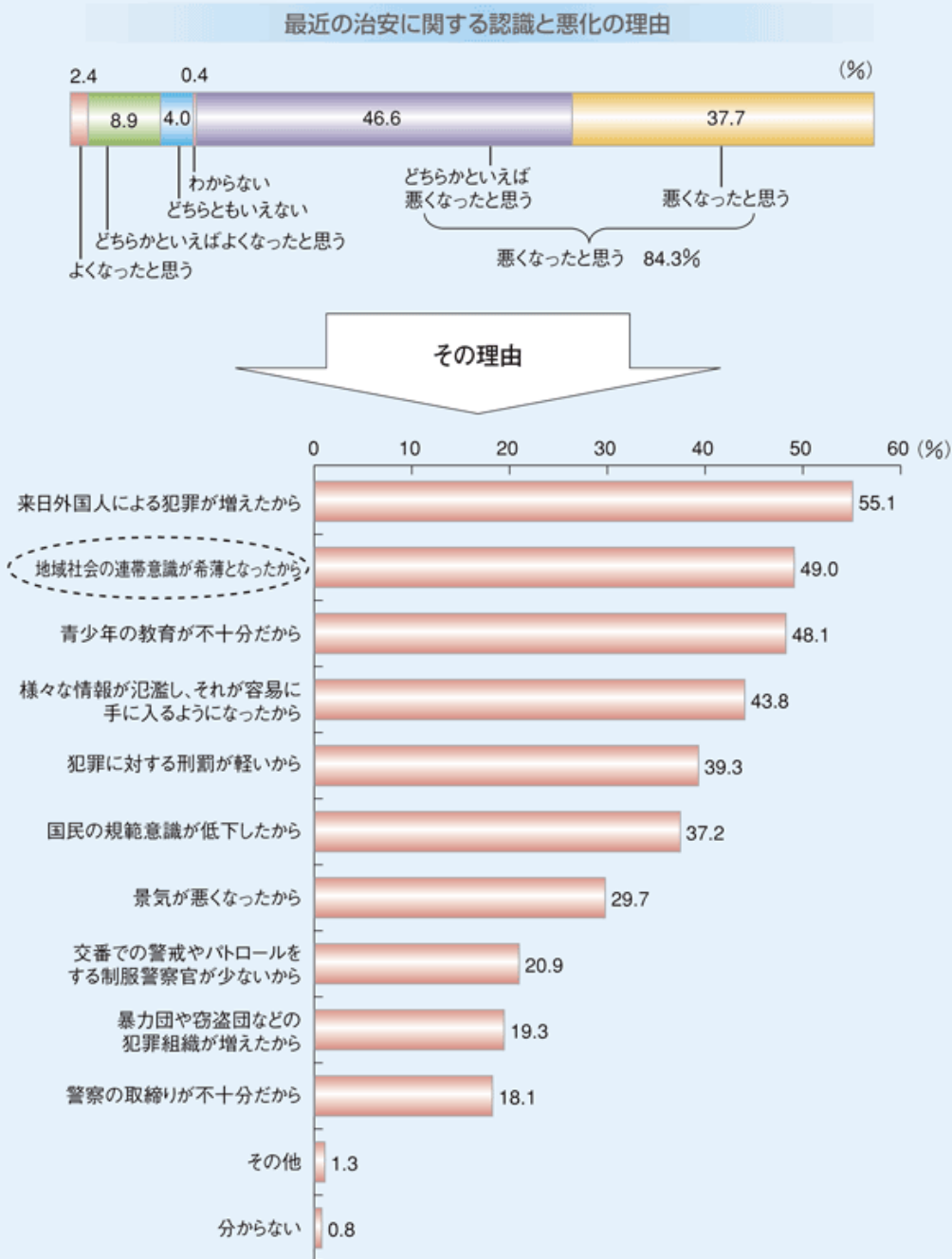
- (備考) 1. 内閣府「社会意識に関する世論調査」(1975、86、97年)により作成および「国民生活選好度調査」(2000、2007年)により特別集計。
 2. 1975、86、97年は「あなたは、地域での付き合いをどの程度していらっしゃいますか。この中ではどうでしょうか。」という問いに対し、回答した人の割合。
 2000、2007年は「あなたは現在、次にあげる人たち(「隣近所の人」とどのくらい行き来していますか。(○はそれぞれ1つずつ)」という問いに対し、回答した人の割合。
 3. 回答者は、1975、86、97年は全国の20歳以上の者。2000年は、全国の20歳以上70歳未満の男女。2007年は、全国の20歳以上80歳未満の男女。

「平成19年版国民生活白書(つながりが築く豊かな国民生活)」より作成

人のつながりに関する意識調査 (地域のつながりと治安)

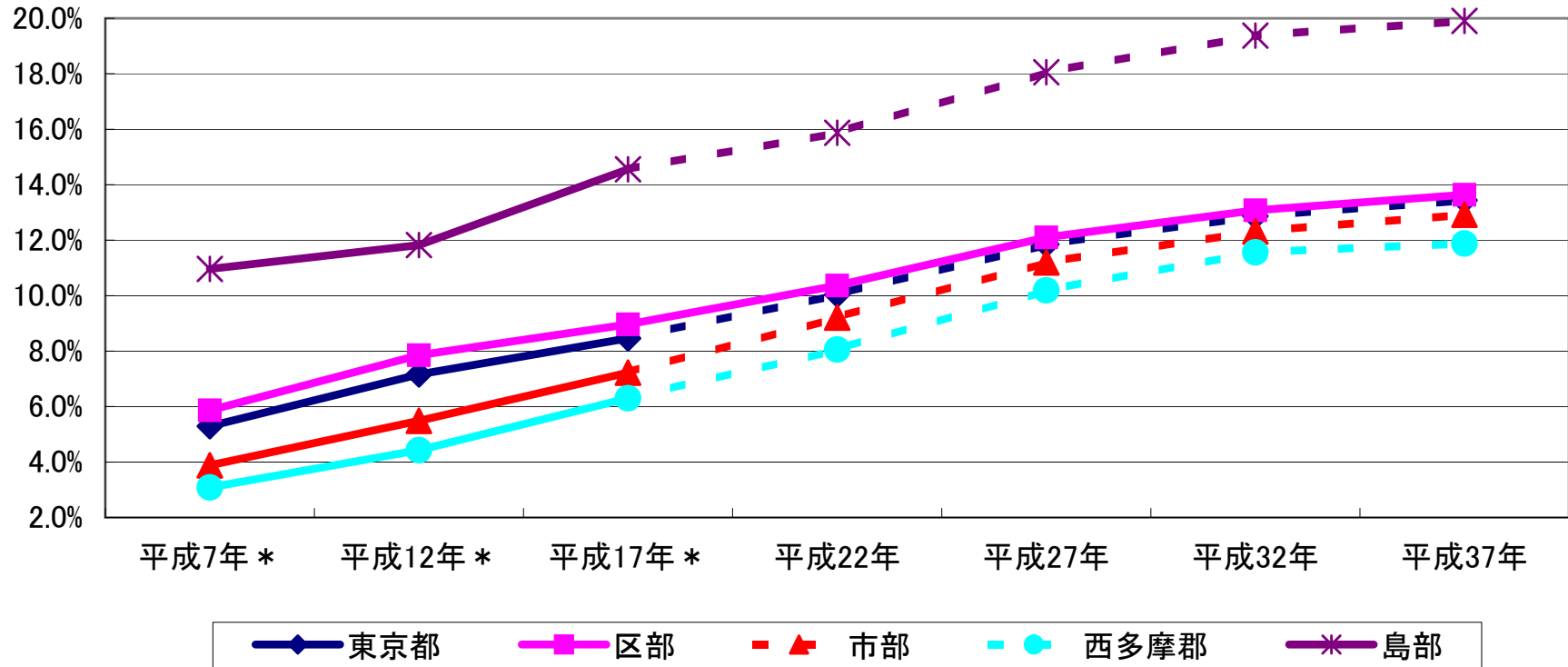
ここ10年間で治安は良くなったか悪くなったか尋ねた結果を見ると、「悪くなったと思う」と回答した人は、8割を超えている。その理由を見ると「地域社会の連帯意識が希薄となったから」が49.0%と、地域のつながりの希薄化により地域が防犯機能を果たさなくなったことを示唆する回答が多かった。

第2-2-13図 地域社会の連帯意識の希薄化により、最近の治安が悪化したと思う人が多い



(備考) 1. 内閣府「治安に関する世論調査」(2006年)により作成。
 2. 「あなたは、ここ10年間で日本の治安はよくなったと思いますか、それとも悪くなったと思いますか。この中から1つだけお答えください。」という問に対して、回答した人の割合。
 3. 回答者は、全国の20歳以上の者1,795人。
 4. 上記2.で「悪くなったと思う」または「どちらかといえば悪くなったと思う」と答えた人に、「治安が悪くなった原因は何だと思えますか。この中からいくつでもあげてください。」と尋ね、回答した人の割合。

高齢者単身世帯数の割合(予測)



	平成7年*	平成12年*	平成17年*	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
東京都	5.3%	7.2%	8.5%	10.0%	11.9%	12.9%	13.4%
区部	5.9%	7.9%	9.0%	10.4%	12.1%	13.1%	13.6%
市部	3.9%	5.5%	7.2%	9.2%	11.2%	12.3%	12.9%
西多摩郡	3.1%	4.4%	6.3%	8.1%	10.2%	11.6%	11.9%
島部	11.0%	11.8%	14.6%	15.9%	18.1%	19.4%	19.9%

※「東京都世帯数の予測」より作成(「世帯主が65歳以上の地域別単身世帯数/地域別総世帯数」)

*印は国勢調査結果による数値であり、15歳未満並びに年齢及び分類不詳の世帯を含む。